

美術館：企画展示室

2013年9月10日[火] - 10月27日[日]

## 安次嶺金正展 -緑の抒情-

ばなな 1953

「本土における緑の木と青い空は、静寂と安定であるが、沖縄における緑の木と青い空は期待と希望である。」安次嶺金正(あしみねかねまさ)が遺した言葉です。1941年(昭和16年)、東京美術学校を卒業後、4年の兵役と2年の捕虜生活に耐えてマレー半島から帰還します。しかし、終戦後はじめて目にした故郷沖縄の風景は、変わり果てた姿でした。沖縄文化の復興を願い、模索し続けた表現とは……。安次嶺金正は、戦後の混乱期、ニシムイ美術村の画家と共に美術の復興に尽力した画家の一人です。とりわけ絵画については独自の展開をみせ、緑を基調とした表現空間は幻想的な中にも、計算された形の構築がさりげなく施されています。



本展覧会は、4章に分けて構成され、第1章では、安次嶺に影響を与えた画家達の作品を始め、戦前に描いた安次嶺の作品をご覧ください。第2章では、戦後混乱期、ニシムイ美術村で描いた作品や、1950年代の具象絵画の展開がみどころです。第3章は、1960年代から70年代の作品です。東京芸術大学の研修を終え、作風が一変します。構成的な中にも緑を基調にした色彩と造形美が魅力的です。第4章は1980年代以降の作品で、これまでの展開に加え人物画や植物画が見る人の心を癒してくれます。全126点の作品を一挙大公開します。(美術館 仲里安広)

一般: 800円 (640円)  
高大学生: 500円 (400円)  
小中学生: 300円 (240円)  
※( )内は20人以上の  
団体料金  
※安次嶺金正展は美術館  
の年間パスポートでご  
覧いただけます。



雲と燈台 1981

## ふれあい体験室

### 体験キットNo27 国々とのおつきあい

ふれあい体験室には、近世琉球王国が行った貿易の様子を、スゴロクで楽しく学べる体験キットがあります。ゲームでは、この時代の琉球人になりきって、船で日本と中国に渡り、各地の特産物売り買いしながらゴールを目指します。大波で荷物が流されたり、人を助けお礼の品をもらったりと、いろんな事が起こります。体験キットで遊ぶ子ども達は、旅先の出来事を喜んだり、悔しがったりしている姿がとても楽しげです。歴史上の記録に基づいた、このスゴロクで遊んでいると、今から400年ほど前の人々が、どのように外国の国々とお付き合いをしてきたのか興味湧いてきます。

まだ、体験したことがないお友達は、ぜひ遊びに来てください。

(ふれたいスタッフ・三枝大悟)



パーキ



★ワークショップ

「ふれたい博士の

小さなパーキづくり」

日程 10月~12月の毎週土曜日

1回目 10:00 2回目 10:45

3回目 11:30 (所要時間 45分)

参加費: 150円

対象: 5才から大人(小3以下、  
大人同伴)

定員: 当日先着30名

(各回10名) 9時より受付

美術館：企画展示室

*The Kiyomizu-dera Temple of Kyoto*

「清水の舞台」で知られる京都清水寺。京都を観光した方のなかには、足を運んだことがある方も多いのではないでしょうか。そんなみなさんに質問です！清水寺の仏さまのお姿をご覧になりましたか？どんな仏さまでしたか？おそらく、ほとんどの方が返答に困るのではないのでしょうか。それもそのはず。多くの人は舞台から望む京都市街の眺めや四季の景観を楽しんでいるから。また清水寺の御本尊が三十三年に一度しか御開帳されない秘仏であることも関係しています。普段は厨子に納められていて、その厨子の前に御本尊の姿を写した「御本尊御前立」を安置しています。結果に隔てられ内々陣に並ぶそれら仏像は、一般の参拝者からは遠く暗いため、細部まで拝観することは困難です。

本展では、清水寺に参詣しても間近で見る機会が少ない仏さまたちを沖縄初公開！日本を代表する寺院・清水寺の寺宝や資料を紹介する本展は、沖縄で初めての本格的な仏教美術の展覧会でもあります。仏像のほか、書画、屏風などの貴重な寺宝 55 点と資料を紹介し、清水寺の全貌に迫ります。なかには秘仏もあり、今回特別に拝観できます。仏像にはどんな種類があるのか、なぜ単に「彫刻作品」と言わないのか、どんなことが表現されているのかを感じとっていただき、仏像の奥深さをご堪能ください。

(文化の杜共同企業体 仲里なぎさ)



本堂 十一面千手観世音菩薩立像  
(御本尊御前立) 江戸時代

平成25年 11月2日(土) ~ 12月8日(日)

## 京都 清水寺展

寛永再建三百八十年記念

一般：1,200円 (960円)

高大学生：800円 (640円)

小中学生：600円 (480円)

※( )内は前売り及び20人以上の団体料金

清水寺展は美術館の年間パスポートでご覧いただけます

## マチュピチュ「発見」100年 インカ帝国展

2013年11月9日(土) ~ 2014年2月2日(日)

「行ってみたい世界遺産」の調査で、人気ランキングNo.1に挙げられるのがペルーの『マチュピチュ』です。その「マチュピチュ」をテーマにした日本初の展覧会が「空中都市マチュピチュとインカ展」。今回は、本物のミイラの展示やマチュピチュを3Dで体現できるコーナーも設置します。

琉球放送(株)主催企画展

※年間パスポート対象外



《若い女性のミイラ》15~16世紀  
レイメバンバ博物館蔵 撮影：義井豊

10月イベントカレンダー

1 火	県民ギャラリー1・2・3 アジアの写真家は今～東松照明追悼展 10/1～10/14
2 水	しまくとぅばプロジェクト『方言 札』世代ぬハナシむぬ語い 14:00～16:00
3 木	休館日
4 金	休館日
5 土	■博物館学芸員講座 「藍壺から琉球藍の製藍業をさぐる」 講師:大滝ゆかり(民俗) 14:00～16:00 ■安次嶺金正展キュレータートーク 講師:仲里安広 11:00～12:00
6 日	■ふれあい体験室ワークショップ しまくとぅばプロジェクト連続講座 「しまくとぅばを知る」第7回 講師:かりまたしげひさ氏 14:00～15:50
7 月	休館日
8 火	休館日
9 水	■展示解説会 博物館常設展 講師:山崎真治(人類) 14:00～15:00
10 木	■美術館コレクションギャラリー1 「コレクションで見る沖縄の映像」 ギャラリートーク 講師:岡村恵子氏 14:00～15:00 ■ふれあい体験室ワークショップ しまくとぅばプロジェクト連続講座 「しまくとぅばを知る」第7回 講師:かりまたしげひさ氏 14:00～15:50
11 金	休館日
12 土	県民ギャラリー1・2・3 国際ナショナルデザインアカデ ミーデザイン展 10/17～10/20
13 日	休館日
14 月	休館日
15 火	休館日
16 水	休館日
17 木	県民ギャラリー1・2・3 国際ナショナルデザインアカデ ミーデザイン展 10/17～10/20
18 金	■博物館文化講座 「世界の餅・沖縄の餅」 講師:柳悦州氏 14:00～16:00
19 土	■美術館コレクションギャラリー1 「コレクションで見る沖縄の映像」 キュレータートーク 講師:豊見山愛 11:00～12:00 ■ふれあい体験室ワークショップ ■安次嶺金正展開運催事 記念コ ンサート線の詩(うた)にのせて 1回目14:00～/2回目16:00～
20 日	休館日
21 月	休館日
22 火	休館日
23 水	休館日
24 木	休館日
25 金	県民ギャラリー1・2・3 第36回沖縄県工芸公募展 10/25～10/27 ■美術館バックヤードツアー 講師:大城直也 11:00～12:00
26 土	■美術館コレクションギャラリー1 「コレクションで見る沖縄の映像」 鑑賞ツアー 時間:13:00～14:00 ■博物館バックヤードツアー 講師:金城久枝(教育普及) 14:00～15:00 ■ふれあい体験室ワークショップ ■「安次嶺金正展」開運催事 ギャラリートーク 講師:稲嶺成祚氏 11:00～12:00
27 日	休館日
28 月	休館日
29 火	県民ギャラリー3 東京圏一高安イコミ個展ー 10/29～11/4 県民ギャラリー1・2 第4回日仏造形美術フェスティバル 10/29～11/3
30 水	
31 木	

■博物館学芸員コラム

知ってる！？ ジオパーク



円錐カルスト  
(ウブグシクムイ本部町)

ジオとは「地球や大地」を表す言葉です。またジオパークとは、科学的にも重要かつ美しい地形や地質遺産を含む、自然公園のことを言います。そこでは、地形や地層を観察することができる場所(ジオサイト)があり、大地の歴史やその生い立ちを学び、感じて楽しむことができるので「大地の公園」とも呼ばれています。

沖縄県でも本部半島と周辺離島、辺戸岬を含むエリアで、ジオパークを目指しています。なぜなら、琉球列島にしか分布していない琉球石灰岩や、本部半島では古期石灰岩が作り出す見事なカルスト地形があるからです。沖縄県立博物館・美術館でもジオツアーを行います。私たちの足下にある大地の壮大な歴史を、体で感じてみてはいかがでしょうか。(博物館 仲里健)



アンモナイト

☆博物館文化講座  
「沖縄で学ぶジオ～島々が語る地球の営み～」  
講師：尾方隆幸氏  
日時：11月16日(土) 時間：14:00～16:00  
※参加費無料、先着200名。ぜひご参加下さい！

お知らせ

※詳細はホームページをご覧ください。

■美術館学芸員コラム

美術館コレクションギャラリー2 りゅうせきコレクションより

「新しいローカルを求めて」

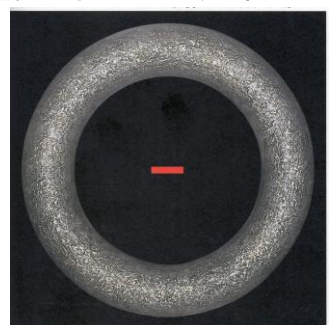
「りゅうせき美術賞」展は1990年から1999年まで10年間、10回にわたり賞金付公募展として沖縄の最初の企業メセナ事業として続けられました。これはりゅうせき創設者の稲嶺一郎氏の意志を継ぎ、文化振興事業による地域貢献をめざして創設されたものです。過去10年で、のべ2,300人、3,050点近くの応募があり、大賞10人、受賞者は490人近くにのぼります。これまで団体展に属さない新人たちの作品が取り上げられ、「新しいローカル」を目指した展覧会だったといえます。この時代沖縄でも文化の振興に一つのエポックがありました。公・私にわたるメセナ事業が沖縄の数箇所で展開されたのです。

本展覧会は平成22年度に株式会社りゅうせきから寄託された絵画70点のうち大賞10点、入賞者12点を展示するものです。この展覧会を見る事によって、沖縄の風土と表現について考えることができれば幸いです。

※メセナ事業:企業が主として資金を提供して文化、  
芸術活動を支援すること (美術館 翁長直樹)

☆「新しいローカルを求めて」関連催事  
アーティストトーク講師:調整中  
日時:12月14日(土)14:00～15:00  
場所:美術館コレクションギャラリー2  
(※コレクションギャラリーのチケットが必要です)

お知らせ



ウルカトム 「環(カン)赤」  
1999年 F50 アクリル

※詳しくは当館ホームページのイベントカレンダーをご覧ください。

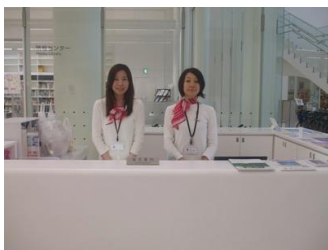
※詳細はホームページをご覧ください。

11月イベントカレンダー

1 金	■寛永再建380年記念 京都 清水寺展 開催期間:11/2(土)~12/8(日)
2 土	■京都 清水寺展 関連催事 開眼法要 9:30~10:00 ■京都 清水寺展 関連催事 清水寺貫主 森清範氏によるご揮毫 11:00~ ■京都 清水寺展 関連催事 特別講演会 「『清水寺展』出開帳をことほぐ」 講師:清水寺貫主 森清範氏 14:00~15:00 ■ふれあい体験室ワークショップ
3 日	休館日
4 月	休館日
5 火	しまくとぅばプロジェクト 「『方言札』世代ぬナナシむぬ語い」 14:00~16:00
6 水	県民ギャラリー1・2・3 デジタルデザイン展 11/7~11/10 国際電子ビジネス専門学校
7 木	「空中都市マチュピチュとインカ展」 開催期間:11/9(土)~2/2(日) 主催:琉球放送 ■博物館学芸員講座 講師:崎原恭子(歴史) 14:00~16:00 ■ふれあい体験室ワークショップ ■おもろ夜会「京太郎の歌」 18:30~20:00
9 土	休館日
10 日	休館日
11 月	休館日
12 火	県民ギャラリー1・2 大城 勝 遺作展 11/12~11/17 県民ギャラリー3 写真集団「カエル」サークル定期写真展 11/12~11/17
13 水	■展示解説会 博物館常設展 講師:仲里健(地学) 14:00~15:00
14 木	■博物館文化講座 「沖縄で学ぶシオ ~島々が語る地球の営み~」 講師:尾方隆幸氏 14:00~16:00 ■「京都 清水寺展」キュレータートーク 案内:仲里なぎさ 11:00~12:00 ■ふれあい体験室ワークショップ
15 金	しまくとぅばプロジェクト 連続講座 第8回 「しまくとぅばを知る」 講師:西岡敏氏 14:00~15:50
16 土	■「京都 清水寺展」キュレータートーク 案内:仲里なぎさ 11:00~12:00 ■ふれあい体験室ワークショップ
17 日	休館日
18 月	休館日
19 火	県民ギャラリー1・2・3 第9回こころの美術文化フェスティバル 11/19~11/24
20 水	休館日
21 木	休館日
22 金	■美術館バックヤードツアー 講師:仲里安広 11:00~12:00 ■美術館コレクションギャラリー2 「沖縄美術の流れ」 鑑賞ツアー 13:00~14:00 ■博物館バックヤードツアー 講師:山崎仁也(生物) 14:00~15:00 ■ふれあい体験室ワークショップ
23 土	休館日
24 日	休館日
25 月	休館日
26 火	県民ギャラリー1・2・3 第6回Photo is art Art is heat 展 11/26~12/1
27 水	休館日
28 木	休館日
29 金	休館日
30 土	休館日
31 日	休館日

博物館・美術館のお仕事

総合案内



総合案内のスタッフにききました。

Q. お仕事をする際に心掛けている事はなんですか？

A. 目配り！気配り！心配り！をモットーに、お客様に博物館・美術館を楽しんでいただけるよう、笑顔で対応することを心掛けています。

総合案内のスタッフは現在5名。いつでもステキな笑顔で皆様をお待ちしております。

博物館・美術館の顔とも言えるのが、総合案内です。

総合案内では、ご来館のお客様に館内の案内をはじめ、時にはバスの乗り方や道案内なども行ないます。小さなお子様の迷子ちゃんも優しい笑顔で対応します。

Museum Cafe 茶花

3Fミュージアムカフェ茶花から、スペシャル博美セットのご案内です♪

大人気のスパイスグリーンカレーにドリンクはもちろん、サラダとスープ、ケーキまで付いた待望のスペシャルセットで1,550円♪

11月からの企画展・清水寺展のコラボメニューも、ぜひお召し上がりください。



ミュージアムカフェ 茶花  
営業時間:11:00~18:00  
TEL・FAX:098-862-7530  
貸切パーティーもOK!!

■編集後記■

おかげさまで、はくび通信もvol.7号を発行することができました。暑さもだいぶ和らいで、季節は秋ですね！芸術の秋。この季節こそ博物館・美術館で感性を刺激してみたいかがでしょうか？

☆博物館・美術館からのお知らせ☆

■沖縄県立博物館・美術館のFacebook開設しました♪

■11月3日(日)は文化の日のため、博物館常設展&美術館コレクション展を無料開放いたします！ぜひぜひご来館ください！

■「インカ帝国展」は当館の主催企画展ではございません。年間パスポートは対象外ですのでご了承ください。お問い合わせは琉球放送(株)TEL:098-988-5000

■沖縄県立博物館・美術館 ■■■

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1  
TEL:098-941-8200 FAX:098-941-2392  
☆開館時間:9:00~18:00 (金・土は20:00まで)

※入館は閉館30分前まで ☆休館日:月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌平日が休館)

<http://www.museums.pref.okinawa.jp>

12月イベントカレンダー

1 日	休館日
2 月	休館日
3 火	県民ギャラリー1・2 大輪書道展 12/3~12/8 県民ギャラリー3 ハートワークス臨床美術作品展 12/3~12/8
4 水	しまくとぅばプロジェクト 「『方言札』世代ぬナナシむぬ語い」 14:00~16:00
5 木	休館日
6 金	休館日
7 土	■博物館学芸員講座 講師:仲里健(地学) 14:00~16:00 ■ふれあい体験室ワークショップ
8 日	休館日
9 月	休館日
10 火	県民ギャラリー1 県立芸大生による作品展 12/10~12/15 県民ギャラリー2・3 第13回沖縄ガイア押花会押し花&ガラスアート合同作品展 12/10~12/15
11 水	■展示解説会 博物館常設展 講師:久場政彦(民俗) 14:00~15:00
12 木	休館日
13 金	第42回 沖縄県芸術文化祭 開催期間:12/14~12/22 主催:沖縄県文化振興会 ■美術館バックヤードツアー 講師:新里義和 11:00~12:00 ■コレクションギャラリー2 「新しいローカルを求めて」 鑑賞ツアー 13:00~14:00 ■コレクションギャラリー2 「新しいローカルを求めて」 アーティストトーク 講師:調整中 14:00~15:00 ■博物館バックヤードツアー 講師:仲里健(地学) 14:00~15:00 ■ふれあい体験室ワークショップ
14 土	しまくとぅばプロジェクト 連続講座 第9回 「しまくとぅばを知る」 講師:仲里健氏 14:00~15:50
15 日	休館日
16 月	休館日
17 火	県民ギャラリー3 バードカービング/木彫りの野鳥 12/17~12/22 県民ギャラリー1・2 高退教 作品展 12/17~12/22
18 水	休館日
19 木	休館日
20 金	休館日
21 土	■博物館文化講座 「キカラジとシーファー」 講師:小波則夫氏・又吉健次郎氏 14:00~16:00 ■美術館コレクションギャラリー2 「新しいローカルを求めて」 キュレータートーク 講師:翁長直樹 11:00~12:00 ■ふれあい体験室ワークショップ
22 日	休館日
23 月	休館日
24 火	休館日
25 水	休館日
26 木	休館日
27 金	休館日
28 土	■ふれあい体験室ワークショップ
29 日	休館日
30 月	休館日
31 火	休館日

※日程が変更になる場合がございます。詳しくはホームページのイベントカレンダーをご覧ください。

※日程が変更になる場合がございます。詳しくはホームページのイベントカレンダーをご覧ください。